

さんよう広場

令和7年1月 第58号

新年明けましておめでとうございます

私たちの病院には、働き者の医師、看護師、たくさんの職員がいます。いつも前向きで、患者さんに優しい頑張り屋さんばかりです。職員が頑張ることで病院は良くなると信じて運営してきました。今も時間を問わない救急車をいわず、重症患者さんや言うことを聞けない認知症患者さんの対応に奔走しています。頑張ることでうまくいくと思っていました。そういう仕事だと思ってやってきました。人の生死に直接関わること、予定通りに行かない突発的な事ばかり、そしてその対象は病気を持っていて心穏やかならない患者さん、ある程度の自己犠牲を了解できないと続けることができない仕事だと思います。



ところが、何だか雲行きが怪しくなってきました。このままでやっていけるのだろうか？働き方改革だ、もっと合理的にやるべきだ。人を増やすしかない。そんな意見もありますが、そんなに簡単ではありません。直近の全国調査では赤字収支の病院は30%を超えているそうです。私たちの病院の経営状態も決して余裕のある状態ではありません。今は頑張らない限りうまくいかない状況と言っても過言ではありません。働き方改革と頑張ることは別です。合理的な業務は常に心掛けなければなりませんが、患者さんに対して合理的という言葉はちょっと抵抗があります。

もっと丁寧に、もっと優しく。ところが一方で、認知症の方が病院の中で転倒、そして骨折、“病院にいるのにこけるなんて病院のせいですよ！”。そうかも知れませんが、合理的にやっても、頑張っても看護をしても起こってしまうこともあります。看護、介護にこんなに頑張っているのに、本人やご家族からは注文ばかり…。何かを求めているわけではありませんが、ちょっぴり虚しくなることもあります、人間ですから。そして辞めていくスタッフもいます。職員の善意や使命感にだけ頼って頑張るわけにはいきませんが、そういう気持ちのない人には務まらない仕事でもあるのです。それだけに報われないといつか心も折れます、やっぱりしんどいからです。

介護関連はもっと厳しい現実があります。何をもって報われるかはいろいろでしょうが、このことを直視しないままでは日本の医療、介護体制はたぶん大丈夫ではないでしょう。

それでも私は“三木山陽病院は患者さんと職員に満足してもらえる病院”、尽きることなくそれだけを目指して頑張っていきます。

皆様今年もよろしくお願い申し上げます。

理事長 森田 須美春

2025年が幕を開けました。かねてから世の中で言われていた『2025年問題』、国民の4人に1人が後期高齢者、いわゆる75歳以上を迎えると言われていた年になります。

確かに、この三木市でも高齢化が進んでいると思われますが、私は逆に来院される皆様から元気なパワーをいただいています。皆様が生き生きと、楽しく地域の中で共に暮らしていただけるよう、私たちは笑顔と感謝の気持ちを忘れず、頑張っていきたいと思います。

皆様にとって幸多い1年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

看護部長 山本 恵子



看護部からのごあいさつ



2階病棟は地域包括ケア病棟です。病棟一丸となって日々患者様に寄り添った看護・介護を心に頑張っています。日々の業務の中で私が大事にしていることは、どんな時も誰にでも「誠実であること」です。つらい時でも誠実であろうと努力することです。患者様・ご家族様に安心して療養していただけますよう、何度でも初心に戻ってスタッフと共に良い病棟を目指します。

2階病棟師長 森下 和代

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し2年目を迎えています。医療現場で働く私たちは、コロナ感染症以外の感染症も視野に入れ日々危機感を持ち取り組んでいます。また今年は以前より問題視されていた2025年となり超高齢化社会を迎え雇用・医療・福祉などの分野に影響を与えていることは払拭できません。当院を利用して頂いている患者さまやご家族さまも年齢を重ねられておられます。そんな中でも面会のため来院され患者さまに元気を与えてくださっています。今、私たちにできることは当院の理念に基づき優しく心のこもった、良質な医療・看護・介護が提供できるように努力することです。これからも三木山陽病院が地域の方々から愛される病院であるように研鑽してまいります。

看護次長兼3階病棟師長 幾 愛子

4階病棟は、内科・外科・整形外科・泌尿器科・眼科など様々な疾患を抱えた患者様や、緩和ケアを中心とした地域のバックアップが必要な患者様が入院されています。

高齢化が進むにつれ、地域に密着した当院の役割は大きくなってきていると感じています。高齢の患者様との関わり、地域の皆様が住み慣れた環境の中で治療・療養が行えるように、昨年と同様に「常に人に優しく相手の立場に立って行動すること」を目標に取り組んでまいります。

4階病棟師長 桑本 順

急性期の5階病棟では2025年も病気で不安な患者様やご家族様、一緒に働くスタッフなどいろいろな状況の方との出会い、関わりがあることと思います。相手に合わせて柔軟に対応する事が、安心した入院生活、暖かい空間につながると考えています。私個人は体も「しなやかに」を目指して、ストレッチを始めようかな…。

5階病棟師長 松浦 純加

外来師長になってから12年が経過しました。

自分自身もまだまだ至らない事ばかりですが、受診に来て下さった患者様が気持ち良く診察を受けて頂けるように、また受診したいと思って頂けるように、優しい対応をスタッフ一同で継続できるように頑張っていきます。

外来師長 藤本 浩子

昨年8月から手術室/中央材料室の師長となりました鳴美です。師長という重責を担うこととなり身の引き締まる思いです。手術は患者様にとって人生の重要な局面となります。身体面だけでなく思いに寄り添う看護ができるよう日々努めています。中央材料室では患者様と直接対面することはありませんが、ひとつひとつの工程すべてが患者様の命につながっている重要な業務と考えています。本年も安心安全に手術を受けていただけるよう、また安全な医療器材を提供できるようチーム一丸となって努めていきたいと思っています。

手術室/中央材料室師長 鳴美 理恵

三木山陽病院でお世話になって28年、透析センターに配属頂いて25年になります。

多くの透析患者様との関わりの中で、医療のことだけに留まらず、人として生命の大切さを沢山学ばせていただき、患者様から多くの事を教えていただきました。

今年も透析センタースタッフ一丸となり、一人ひとりの大切な患者様の透析支援を滞りなく行えるよう努めてまいります。

透析センター師長 石丸 加奈子



本年もよろしくお願いいたします





マイコプラズマ肺炎について



内科
一居 武夫

2024年の夏ごろより、マイコプラズマ肺炎が近年にない流行拡大をみせています。マイコプラズマ肺炎にはこういった特徴があるのでしょうか。

病原体は肺炎マイコプラズマ（*Mycoplasma pneumoniae*）という微生物であり、生物学的には細菌に分類されますが、他の細菌と異なり細胞壁を持ちません。そのため、通常の肺炎においてよく使用する、細胞壁に作用するペニシリン系やセフェム系と呼ばれる抗生物質が効きません。

マイコプラズマは主に飛沫感染といって、感染者の咳やくしゃみなど細かい唾液や気道分泌物が空气中に飛び出し、それを吸い込むことで他者に感染が引き起こされます。そうした細かい唾液や気道分泌物が物に付着して、それを触った手で目や鼻、口を触ることによって感染する場合があります（接触感染）。ただし、感染には比較的濃厚な接触が必要と言われており、はしかやインフルエンザのように学校や同じ職場内で感染が一気に拡大することはまれです。

潜伏期間は通常2～3週間と長く、多くは発熱や全身倦怠感、頭痛といった一般的な風邪症状から始まりますが、その3～5日後くらいから起こることが多い、痰を伴わない乾いた咳が一番特徴的な症状です。この咳は熱が下がった後も長く続くこともあり、3～4週間続くこともあります。

ワクチンなど特異的な予防方法はありません。新型コロナウイルス流行時に実施していた予防対策はマイコプラズマにも効果的といわれており、積極的なマスク着用や、うがい、手洗いをしっかりと行うこと、感染者と濃厚接触を避けることが予防に重要となります。



糖尿病教室よりお知らせ

《日時》 毎月第3木曜日（3月は第4木曜日）13：00～14：30

《会場》 本館3階 会議室 《参加費・申込み》 不要

糖尿病に関心のある方であれば、どなたでも参加いただけます。

開催日	テーマ	担当講師
令和7年1月16日（木）	糖尿病と感染症について	内科医 金子 景弘
2月20日（木）	薬の飲み忘れを防ぐコツ	薬剤科 樋口 懂子
3月27日（木）	糖尿病性腎症・透析予防について	看護部 藤本 浩子

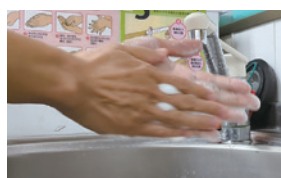


管理栄養士のこぼれ話 【感染症予防に十分な手洗いを】

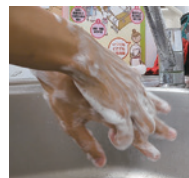
ウイルスや細菌は見た目には汚れていなくとも、いろんな場所に付着している可能性があります。感染症から自分を守る為には手洗い・うがいは重要です。正しく衛生的な手洗いを行いましょう。



アクセサリーを外し袖まくり、流水で手全体を濡らす



洗剤を適量手のひらにとって、手のひらを泡立てながら洗う



手の甲、そして指をクロスさせながら指の間もよく洗う



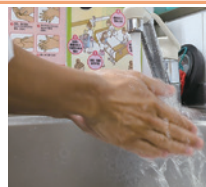
指先・爪は手のひらで円をかくようにこすりながら洗う



親指を片方の手で包み込んで回しながら洗う



手首も回しながら、しっかりと洗う



流水でしっかりと洗剤を流す



ペーパータオルで押さえ拭きし、しっかりと乾燥させる



行事などの紹介



消防訓練

11月14日に消防訓練を行いました。
今年は実習で来ていた看護学生の皆さんにも、
一緒に訓練を体験していただきました。



永年勤続表彰式

12月9日に病院および関連施設に勤める職員の
永年勤続表彰式を行いました。
一人ずつ理事長から記念品を贈呈され、全員で記念
写真を撮影しました。



トライやる・ウィーク

11月11日から3日間、トライやる・ウィークを
行って中学生1名にご参加いただきました。
院内の様々な仕事を体験したことで、将来に向けた
学びになれば幸いです。



クリスマスコンサート

12月7日にクリスマスコンサートを催しました。
音楽やマジックショーのグループをお招きし、患者
様方からはご好評の声をいただきました。



アクセスMAP



医療法人社団 朋優会

三木山陽病院

〒673-0501

三木市志染町吉田 1213-1

TEL 0794-85-3061

FAX 0794-85-3582

URL <http://www.hoyukai.or.jp>

E-mail info@mikisanyo-hp.com

